



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月29日

上場会社名 カルビー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2229 URL http://www.calbee.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 伊藤 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 上級常務執行役員 (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	121,067	1.9	11,740	13.6	12,560	19.0	9,628	36.7
2018年3月期第2四半期	118,822	△3.9	10,338	△24.8	10,557	△17.4	7,045	△11.8

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 10,563百万円(45.1%) 2018年3月期第2四半期 7,282百万円(14.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	72.06	72.03
2018年3月期第2四半期	52.72	52.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	196,890	150,987	73.2
2018年3月期	192,034	146,667	72.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 144,214百万円 2018年3月期 139,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	1.4	29,500	10.0	29,000	10.8	19,000	9.6	142.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 1社(社名) Calbee-URC, Inc.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	133,917,800株	2018年3月期	133,875,800株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	267,972株	2018年3月期	292,997株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	133,622,795株	2018年3月期2Q	133,630,816株

(注) 期末自己株式数には、信託が保有する自社の株式を含めております(2019年3月期第2四半期267,140株、2018年3月期292,165株)。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております(2019年3月期第2四半期281,416株、2018年3月期第2四半期196,338株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2 2019年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数133,649,828株により算定しております。
- 3 当社は、2018年10月29日(月)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内事業におけるスナック菓子の増収と、海外事業におけるシリアル食品およびスナック菓子の増収により、121,067百万円(前年同期比1.9%増)と前年同期を上回りました。国内スナック菓子は、ポテトチップスが台風の影響に起因した馬鈴しょ不足により、前第1四半期に販売調整を行いました。当期は売上を伸ばしたことが貢献し、増収となりました。海外シリアル食品においては、「フルグラ」が、8月から新たに京都工場の生産を開始し、中国向けの販売チャネルの拡大を図り売上を伸ばしました。海外スナック菓子は、主にインドネシアや豪州の売上が拡大し、増収となりました。

営業利益は、国内事業において、ポテトチップスの売上増加により工場稼働率が回復し原価が改善したことや、海外事業においても、北米の廃棄ロス低減等により原価が改善し、11,740百万円(前年同期比13.6%増)と前年同期を上回り、営業利益率は9.7%(前年同期比1.0ポイント改善)となりました。経常利益は、為替差益822百万円等により12,560百万円(前年同期比19.0%増)となりました。また、9月に連結子会社のカルネコ株式会社(事業内容:販促物の制作および販売)の全株式を譲渡したことにより関係会社株式売却益2,378百万円を特別利益に計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,628百万円(前年同期比36.7%増)となりました。

	2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		伸び率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
国内売上高	102,742	86.5	102,586	84.7	△0.2	△0.2
海外売上高	16,080	13.5	18,480	15.3	+14.9	+16.1
合計	118,822	100.0	121,067	100.0	+1.9	+2.0

事業別の売上高は以下のとおりです。

売上高	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
① 食品製造販売事業	117,045	119,627	+2.2
国内食品製造販売事業	100,965	101,146	+0.2
国内スナック菓子	81,042	88,192	+8.8
国内シリアル食品	12,816	12,408	△3.2
国内その他食品	7,106	546	△92.3
海外食品製造販売事業	16,080	18,480	+14.9
海外スナック菓子	15,555	16,299	+4.8
海外シリアル食品	524	2,181	+315.7
② その他事業	1,776	1,439	△19.0
合計	118,822	121,067	+1.9

① 食品製造販売事業

(国内食品製造販売事業)

・国内スナック菓子

国内スナック菓子の売上高は、前年同期に比べ増収となりました。ポテトチップスの需要増による売上伸長に加えて、新たな素材を使った新商品が増収に貢献しました。一方、ポテトチップスの需要増の反動から、小麦系スナックおよびコーン系・豆系スナックの売上が減少しました。

国内スナック菓子の製品別売上高は以下のとおりです。

売上高	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
ポテト系スナック	56,034	64,604	+15.3
ポテトチップス	31,445	39,967	+27.1
じゃがりこ	17,220	18,755	+8.9
Jagabee/じゃがポックル	7,367	5,881	△20.2
小麦系スナック	11,295	10,259	△9.2
かっぱえびせん	5,267	4,639	△11.9
サッポロポテト等	6,028	5,619	△6.8
コーン系・豆系スナック	8,751	7,907	△9.6
その他スナック	4,960	5,420	+9.3
国内スナック菓子 計	81,042	88,192	+8.8

- ・ポテト系スナックの売上高は、前年同期に比べ増収となりました。ポテトチップスは、前年第1四半期において馬鈴しょ不足から販売アイテムの調整を行った影響と、第1四半期の増量キャンペーン効果等により、「うすしお味」等の定番品の売上が拡大し、増収となりました。また、「じゃがりこ」は、TVコマースの展開とともに全国販売を開始した個食サイズの新商品「とうもりこ」および「えだまりこ」の売上が貢献し、増収となりました。一方「Jagabee/じゃがポックル」は、「じゃがポックル」が堅調に推移したものの、「Jagabee」の定番品の販売不振により減収となりました。
- ・小麦系スナックの売上高は、「かっぱえびせん」「サッポロポテト」等の売上がポテトチップスの需要増の反動で減少し、前年同期に比べ減収となりました。
- ・コーン系・豆系スナックの売上高は、当期に発売したジャパンフリトレーの「ドラゴンポテト」が売上に貢献するも、「チートス」等の売上がポテトチップスの需要増の反動で減少し、前年同期に比べ減収となりました。

・国内シリアル食品

国内シリアル食品の売上高は、「フルグラ」の新規顧客開拓に向けた個食サイズ活用による販売推進、ならびに「フルグラ糖質オフ」のリニューアル、期間限定品の継続的な投入等を実施したものの、需要の底上げには至らず、前年同期に比べ減収となりました。

・国内その他食品

国内その他食品の売上高は、ベーカリー事業を4月に譲渡したことから、前年同期に比べ大幅に減収となりました。

(海外食品製造販売事業)

・海外スナック菓子

海外スナック菓子の売上高は、前年同期に比べ増収となりました。インドネシアでは、3月から販売開始したコーン系スナック「Krisbee Krunchy」の貢献と、販売促進活動を積極的に行ったポテトチップス「Potabee」の売上拡大により、増収となりました。豪州においては、市場参入以来、豆系スナック「Harvest Snaps」の売上の拡大基調が続きました。また、北米においては、オーガニック豆を使用した「Harvest Snaps」の販売を開始するとともに、既存の「Harvest Snaps」の販売促進活動を強化し、増収となりました。一方、韓国では、販売不振が継続し前年同期に比べ減収となりました。

・海外シリアル食品

海外シリアル食品の売上高は、「フルグラ」が8月から新たに京都工場での生産を開始し、前期に開始した越境Eコマースに加え、当期から中国国内のEコマースによる販売を開始し、前年同期に比べ増収となりました。

海外食品製造販売事業の地域別売上高は以下のとおりです。

売上高	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)	
北米	5,002	5,178	+3.5	
ア	中華圏	3,451	5,177	+50.0
ジ	韓国	2,708	2,191	△19.1
ア	その他アジア・豪州	4,215	5,105	+21.1
欧州	702	827	+17.7	
海外食品製造販売事業 計	16,080	18,480	+14.9	

*1 中華圏：中国、台湾、香港

*2 その他アジア・豪州：タイ、フィリピン、シンガポール、インドネシア、オーストラリア

② その他事業

その他事業には主に物流事業、販売促進ツール関連事業が含まれておりますが、販促物の制作および販売を行うカルネコ株式会社の全株式を9月に譲渡し連結の範囲から除外したことから、前年同期に比べ減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ4,856百万円増加し、196,890百万円となりました。この主な要因は、資金運用のために有価証券を取得し、増加したことによるものです。

負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ536百万円増加し、45,903百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ4,319百万円増加し、150,987百万円となりました。

この結果、自己資本比率は73.2%となり、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント上昇しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,471百万円減少し、38,723百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として売上債権の減少により前年同期と比べ17,280百万円収入が増加し、12,283百万円の純収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入および貸付金の回収による収入が増加したことにより前年同期と比べ1,473百万円支出が減少し、14,600百万円の純支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として短期借入金の純増減額が減少したことにより前年同期と比べ1,793百万円支出が増加し、1,421百万円の純支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月11日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,559	21,890
受取手形及び売掛金	41,749	37,958
有価証券	22,998	33,747
たな卸資産	10,748	13,237
その他	5,323	4,251
貸倒引当金	△23	△21
流動資産合計	104,356	111,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,423	28,694
機械装置及び運搬具（純額）	28,171	29,399
土地	11,556	11,333
建設仮勘定	4,523	1,565
その他（純額）	1,421	1,304
有形固定資産合計	73,096	72,297
無形固定資産		
のれん	922	459
その他	2,468	2,091
無形固定資産合計	3,391	2,551
投資その他の資産		
投資その他の資産	11,316	11,036
貸倒引当金	△126	△58
投資その他の資産合計	11,190	10,977
固定資産合計	87,678	85,826
資産合計	192,034	196,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,728	11,115
短期借入金	1,129	5,760
未払法人税等	5,252	4,599
賞与引当金	3,863	3,300
役員賞与引当金	117	66
株式給付引当金	53	0
その他	15,260	11,924
流動負債合計	35,405	36,767
固定負債		
役員退職慰労引当金	491	278
役員株式給付引当金	90	52
退職給付に係る負債	7,674	7,240
資産除去債務	659	519
その他	1,045	1,045
固定負債合計	9,961	9,135
負債合計	45,366	45,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,033	12,043
資本剰余金	4,775	4,785
利益剰余金	123,647	127,653
自己株式	△1,073	△982
株主資本合計	139,383	143,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	680	713
為替換算調整勘定	57	626
退職給付に係る調整累計額	△745	△626
その他の包括利益累計額合計	△7	713
新株予約権	7	3
非支配株主持分	7,284	6,769
純資産合計	146,667	150,987
負債純資産合計	192,034	196,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	118,822	121,067
売上原価	69,298	67,733
売上総利益	49,523	53,333
販売費及び一般管理費	39,185	41,592
営業利益	10,338	11,740
営業外収益		
受取利息	40	62
受取配当金	23	20
持分法による投資利益	—	0
為替差益	193	822
その他	150	129
営業外収益合計	407	1,035
営業外費用		
支払利息	36	35
たな卸資産評価損	—	79
減価償却費	21	46
その他	130	54
営業外費用合計	188	216
経常利益	10,557	12,560
特別利益		
固定資産売却益	4	21
投資有価証券売却益	—	33
関係会社株式売却益	—	2,378
事業整理益	—	488
特別利益合計	4	2,922
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	80	106
減損損失	—	813
役員退職慰労金	—	350
関係会社株式売却損	—	24
その他	—	2
特別損失合計	80	1,301
税金等調整前四半期純利益	10,481	14,181
法人税、住民税及び事業税	2,898	4,322
法人税等調整額	548	182
法人税等合計	3,447	4,505
四半期純利益	7,033	9,675
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,045	9,628

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	7,033	9,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	32
為替換算調整勘定	43	736
退職給付に係る調整額	146	119
その他の包括利益合計	248	887
四半期包括利益	7,282	10,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,285	10,350
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	213

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,481	14,181
減価償却費	3,939	3,871
減損損失	—	813
のれん償却額	299	283
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△747	△421
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△54	△33
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△50	△2
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△20	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	40	△76
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	19	14
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△54	△154
受取利息及び受取配当金	△63	△82
支払利息	36	35
為替差損益(△は益)	△239	△737
事業整理益	—	△488
持分法による投資損益(△は益)	—	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,387
固定資産売却損益(△は益)	△4	△17
固定資産除却損	80	106
売上債権の増減額(△は増加)	△11,063	2,401
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,339	△2,643
仕入債務の増減額(△は減少)	1,743	2,196
未払金の増減額(△は減少)	△1,117	△1,377
その他	△684	1,700
小計	175	17,178
利息及び配当金の受取額	63	60
利息の支払額	△37	△36
法人税等の支払額	△5,197	△4,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,996	12,283

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,543	△6,017
有形固定資産の売却による収入	12	31
無形固定資産の取得による支出	△196	△279
無形固定資産の売却による収入	—	0
有価証券の取得による支出	△16,998	△16,832
有価証券の償還による収入	8,000	4,000
投資有価証券の取得による支出	△8	△7
投資有価証券の売却による収入	—	47
貸付けによる支出	△60	△920
貸付金の回収による収入	120	2,378
定期預金の預入による支出	△794	—
定期預金の払戻による収入	337	266
差入保証金の差入による支出	△15	△45
差入保証金の回収による収入	73	38
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△823
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	3,169
その他	0	393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,073	△14,600
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,083	4,241
自己株式の取得による支出	△533	—
ストックオプションの行使による収入	16	16
非支配株主からの払込みによる収入	502	—
配当金の支払額	△5,616	△5,616
非支配株主への配当金の支払額	△16	△10
リース債務の返済による支出	△65	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	371	△1,421
現金及び現金同等物に係る換算差額	147	266
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,551	△3,471
現金及び現金同等物の期首残高	44,627	42,195
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,075	38,723

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社の連結子会社であるCalbee (UK) Ltdは、英国の製菓会社Seabrook Crisps Limitedの事業を買収することを目的として、英国のプライベート・エクイティファンドLloyds Development Capital (Holdings) Limitedおよび個人株主から、Pacific Shelf 1809 Limitedの株式100%を取得する株式売買契約書を締結し、2018年10月2日付で全株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Pacific Shelf 1809 Limited
 事業の内容 有価証券の保有

② 企業結合を行った主な理由

Pacific Shelf 1809 Limitedの連結子会社であるSeabrook Crisps Limitedは、ポテトチップスのSeabrookブランドを有する1945年創業の歴史ある英国菓子メーカーです。欧州最大のスナック菓子市場規模を持つ英国において、その主要カテゴリーであるポテトチップスのブランド買収を通じてカルビーブランドの強化を図るとともに、カルビーグループの欧州事業のさらなる拡大を目指します。

③ 企業結合日

2018年10月2日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるCalbee (UK) Ltdが現金を対価として取得したことによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 1,361百万円